

人事

●採用
【大学】
〈教育職員〉(2023.9.1)
森長 誠 工学部 建築学科 講師

新任教員紹介



森長 誠 講師

工学部 建築学科

建物の中の快適性を高めるには屋外から聞こえてくる音の制御も重要です。特に騒音とよばれる、人にとって望ましくない音は極力、減らす必要があります。私は、騒音が人間に及ぼす影響についての研究を行っており、その科学的知見を国内外に発信しております。

退任教職員よりメッセージ

小森 和武 教授

工学部 機械システム工学科



定年退職するに当たり、私の好きな言葉を紹介します。Genius is one percent inspiration, ninety-nine percent perspiration. 発明王エジソンの言葉ですが、必要ならばネットで和訳を検索出来ます。ここで、inspiration, perspirationと韻を踏んでいることに魅力を感じます。

上田 浩次 教授

情報学部 情報システム学科



2009年4月情報システム学科教授として着任から15年、今年度末に退任を迎えます。企業出身でしたので大学での教育は手探りの状態から始まりました。そのような中、教職員の皆様、多くの学生みなさんに支えられ、これまで無事に過ごすことができました。心より熱く御礼申し上げます。長い間のご支援ありがとうございました。

日高 美鈴 職員

人事室



中途入社してから29年、定年退職を迎えることができました。仕事の機会を与えてくださった大同学園に、未熟な私を導いてくださった先輩方、支え合い時には刺激をくれた同僚の皆様、心より感謝申し上げます。愛され続ける大同大学でありますよう心より祈っています。長い間、本当にありがとうございました。

溝口 正信 教授

工学部 機械システム工学科



昨年度のキャリアセンターの就職決定者アンケートによれば、就職先満足度は94%、大学での学習が就職先で役立つが85%でした。これは本学が社会に役立つ人材育成のための立派な教育をしている証です。この大学の一助となれたことは私の誇りです。これまでお世話になった教職員の方々、学生の皆さんに感謝申し上げます。

小高 直樹 教授

情報学部 情報デザイン学科



2006年、大学の変革期に私は着任しました。その当時考えていたことは「人が集まってくる華がほしい。」ただそれだけでした。それから多くの学生が大同大学の門をくぐり育てて行きました。私の専門分野である音楽、サウンドというもの、少しでもその事に貢献していたならば悔いはありません。皆さんお世話になりました。

井上 章子 職員

図書館



図書館の井上章子です。1982年6月に大同学園に入り41年間、図書館で勤務してきました。楽しかったこと、大変だったこといろいろ思い出します。在職中は皆様に暖かく接していただき、助けていただいたことを本当に感謝しています。ありがとうございました。大好きな本に囲まれて仕事ができて幸せでした。

「DAIDO CAMPUS」の表紙を情報デザイン学科3年生の 山本晴翔さんがデザインしました

「変化・成長」をテーマに表紙のデザインをしました。これまでの作品はイラストレーターを使っていたものが多く少し堅い印象を受けていたので、別の表現はないかと試行錯誤していました。なので視覚的な面白さや柔軟なデザインを念頭に置き制作しました。作品のコンセプトは観客や舞台に合わせてではなく自分の世界を赴くままに表現する様を表しています。周りに流されず自分の道を見据え、成長する

たびに見える景色が鮮明に鮮やかになっていく様子をイメージしました。

クライアントに求められていたことが、今までの課題とは「まったく異なる表現のデザイン」だったので本当に頭を悩ませながら長い期間をかけ3案制作したところ、どれも非常に気に入ってくれていたのですごく嬉しかったです。



DAIDO UNIVERSITY NEWS

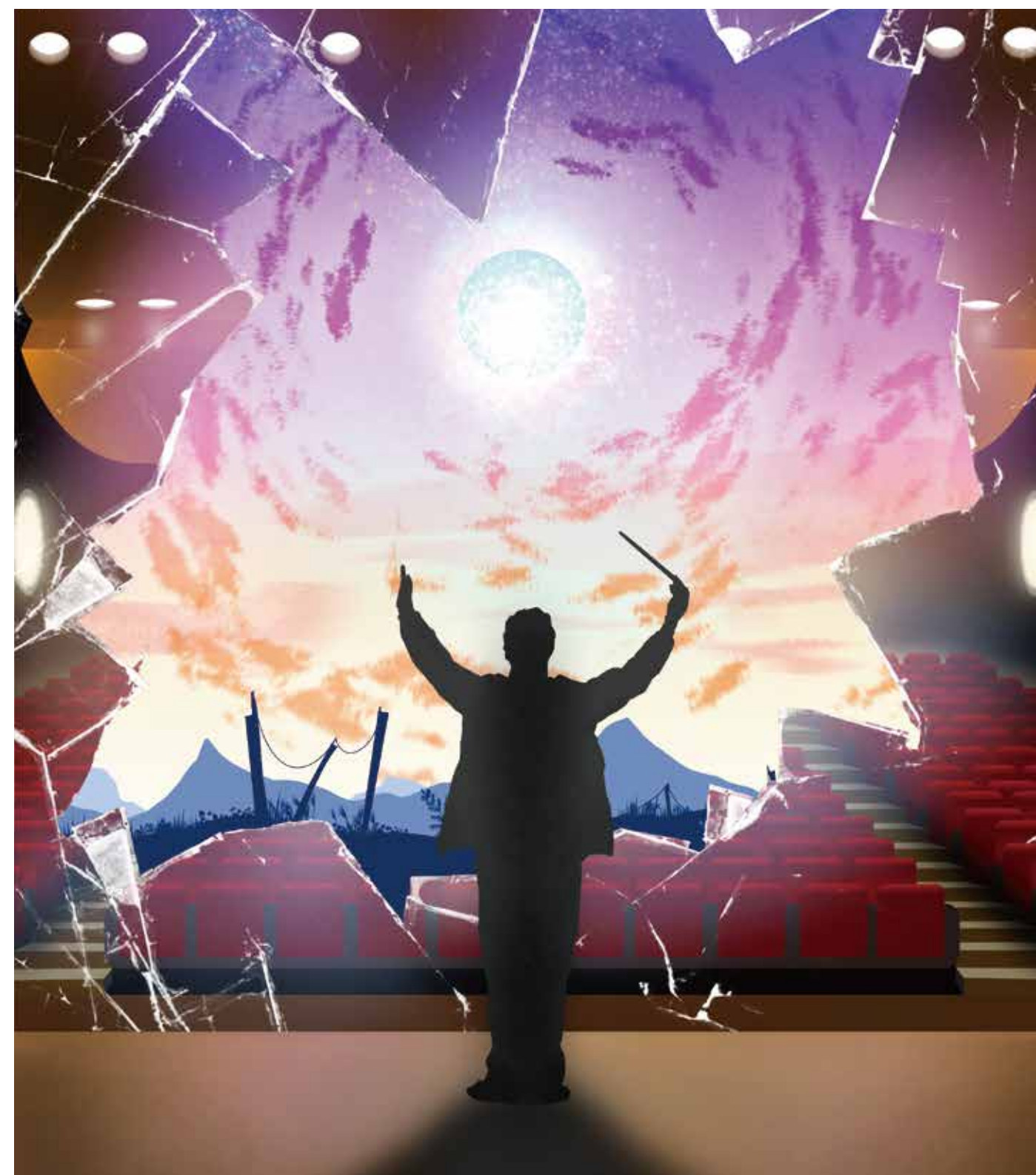
DAIDO CAMPUS

ISSUE

109

2023年
12月発行

特集
卒業生インタビュー、コラム ほか

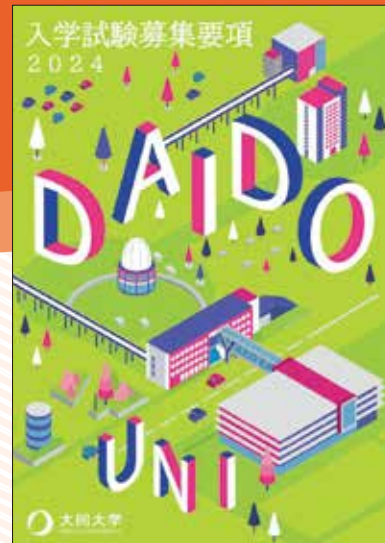


学生デザイン作品集

学生たちが、キャリア支援室や研究・社会連携推進室などで発行するチラシをデザインしました。また、ポスターグランプリで入賞・入選した作品も。それぞれのテーマやニーズをよく考え制作しました。



「ペットボトルラベル」/秋田詩織さん



「2024入学試験募集要項」表紙/宮川大輝さん



学力系特別奨学生チラシ/両星杏美さん



「ものづくり講座」/村瀬理紗さん



「なごや健康カレッジ」/今井拓実さん



「ポスターグランプリ」入賞作品/松本優羽さん



「大同生に聞いてみました!」工学部チラシ/秋田詩織さん



「大同生に聞いてみました!」建築学部チラシ/齋藤ひかりさん



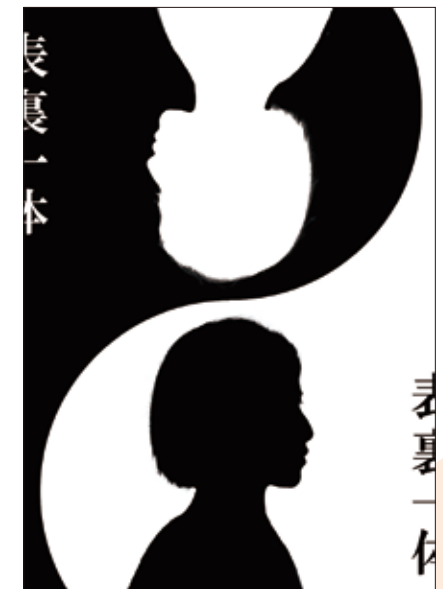
「大同生に聞いてみました!」情報学部チラシ/内山紗希さん



「ポスターグランプリ」入選作品/伊藤仁さん



「ポスターグランプリ」入選作品/伊藤百葉さん



「ポスターグランプリ」入選作品/佐野有咲さん



本学の就職活動促進チラシ/加藤大季さん



本学の就職活動促進チラシ/山本実歩さん



総合・推薦型特別奨学生チラシ/今枝聖苗さん



「ポスターグランプリ」入選作品/下野友輝さん



「ポスターグランプリ」入選作品/柗柳宙依さん



「ポスターグランプリ」入選作品/両星杏美さん

板倉風雅さん、出口大成さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻) 日本鑄造工学会 第181回全国講演 大会で研究発表を行いました

5月20日(土)、21日(日)に公益社団法人
日本鑄造工学会が主催する第181回全国講演
大会が近畿大学 東大阪キャンパスで開催され
ました。この大会で、大学院 工学研究科 修士課
程 機械工学専攻 前田研究室 1年 板倉風雅
さん、出口大成さんが研究発表を行いました。

発表したテーマは下記の通りです。

◆板倉さんのテーマ

「粒子法シミュレーションによるダイカストラドル傾動速度の可変検討」

◆出口さんのテーマ

「鑄造用フィルタを通過するアルミニウム合金溶湯の
湯流れシミュレーション」

日本鑄造工学会のHPはこちら

<https://jfs.or.jp/>



▲(左から)板倉さん、出口さん



中島将吾さん(大学院 工学研究科 建築学専攻) ミラノ工科大学での 留学報告会を開催しました

5月19日(金)にイタリアのミラノ工科大学
に留学した大学院 工学研究科 修士課程
建築学専攻 2年 中島将吾さんによる留学
報告会が開催されました。

中島さんは、ミラノ工科大学と本学(大学
院 工学研究科 建築学専攻)との間で締結
した「学生交換留学に関する協定書」に基づ
き、2022年9月から半年間、ミラノ工科大学
大学院に留学生として在籍しました。

報告会では、現地で撮影した写真を使い
ながら、大学での生活やイタリアでの交流
などについて発表を行いました。



▲中島さんによる報告の様子



▲報告会には多くの教職員・学生が参加

酒井優希さん(総合情報学科 スポーツ情報コース) ハンドボール第10回男子ユース世界 選手権でPlayer of the Matchに 選出されました

8月2日(水)～13日(日)、クロアチアで開催されたハンドボール第10回
男子ユース世界選手権に、情報学部 総合情報学科 スポーツ情報コース
1年 男子ハンドボール部 酒井優希さんが代表選手として出場しました。

酒井さんは8月7日(月)の順位決定戦(プレジデントカップ)でバーレーン
と対戦し、日本代表は33-21で快勝しました。酒井さんはその試合で最も活
躍した選手として、Player of the Matchに選出されました。

日本代表は8月8日(火)には韓国と対戦しました。

大会の動画はこちら

[https://www.youtube.com/live/](https://www.youtube.com/live/Efg4ugUzGik?feature=share)

Efg4ugUzGik?feature=share



村松大智さん(大学院 情報学研究科 情報学専攻) 情報処理学会 「マルチメディア、分散、協調とモバイル DICOMO 2023シンポジウム」で 研究発表を行いました

7月5日(水)～7日(金)、一般社団法人情報処理学会が主催する「マル
チメディア、分散、協調とモバイル DICOMO 2023シンポジウム」が富山
国際会議場で開催されました。

このシンポジウムで、大学院 情報学
研究科 修士課程 情報学専攻 情報
システムコース 君山研究室 1年 村松
大智さんが、研究論文「無線ネット
ワークにおけるアップロード速度評価の
ためのベンチマークツールの開発」に
ついて発表を行いました。

DICOMO 2023シンポジウムのHPはこちら

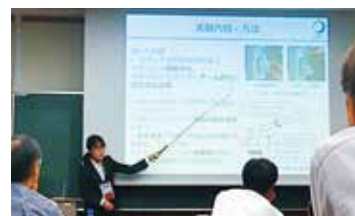
<https://dicomo.org/>



▲研究発表の様子



田村文乃さん、吉田拓司さん、神戸駿斗さん、小松正直さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻) 日本機械学会「2023年度年次大会」で研究発表を行いました



▲発表題目「乗り移り成功率向上を目指した紙製空中ブランコロボットの改良」(発表者 田村さん)



▲発表題目「機械的位置エネルギーを利用した紙製空中ブランコロボットの3Dモデルの開発と解析」(発表者 神戸さん)

9月3日(日)～6日(水)、一般社団法人日本機械学会が開催する2023年度年次大会が東京都立大学で開催
され、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 篠原研究室 1年 田村文乃さん、坪井研究室 吉田拓司さん、
篠原研究室 2年 神戸駿斗さん、坪井研究室 小松正直さんが研究発表を行いました。また、吉田さんの発表が優秀
発表賞を受賞しました。

それぞれの研究テーマは以下の通りです。

◆田村さんのテーマ

「乗り移り成功率向上を目指した紙製空中ブランコロボットの改良」

◆吉田さんのテーマ

「凸型テクスチャを用いた摺動面における流体潤滑特性に
対するキャビテーションの影響に関する数値的研究」

◆神戸さんのテーマ

「機械的位置エネルギーを利用した紙製空中ブランコ
ロボットの3Dモデルの開発と解析」

◆小松さんのテーマ

「カヌー競技用ノドルのノドリング時における流れに関する研究」



▲吉田さんの表彰状



▲吉田さんの様子

日本機械学会

2023年度 年次大会はこちら

[https://confit.atlas.jp/guide/](https://confit.atlas.jp/guide/event/jsme2023/top)
event/jsme2023/top



石黒芽里さん、三神奈々葉さん、三矢幸佳さん(建築学科 建築専攻) 村田なずなさん、伊藤力哉さん、鈴木駿英さん、福岡拓己さん(建築学科 インテリアデザイン専攻) 第3回『中部商空間賞』学生部門で受賞しました!

JCD(一般社団法人 日本商環境デザイン協会)中部支部が主催する第3回
「中部商空間賞・学生部門」で、工学部 建築学科 建築専攻 武藤研究室 4年
石黒芽里さん、三神奈々葉さん、三矢幸佳さん、インテリアデザイン専攻 宇野
研究室 4年 村田なずなさんによるグループが銀賞を、インテリアデザイン専攻
武藤研究室 4年 伊藤力哉さん、鈴木駿英さん、同専攻 宇野研究室 4年 福岡
拓己さんによるグループが銅賞を受賞しました。

JCD中部支部は、空間デザインに関わる様々なクリエイターや組織によって
構成されています。JCD中部支部デザインアワードは、2020年に第5回を迎え
名称を「中部商空間賞」と変え、新たな中部地区の商業施設におけるデザイン
の向上と発展に繋がるデザインアワードとなることを目指しています。さらに、新た
に学生部門による商業施設に関わる設計課題の作品を対象としたデザイン賞
を設け、商空間デザインの興味と理解を深め、未来への商空間の発展を目的と
しています。

今回の募集対象となったのは、2022年4月から2023年2月末までの間に、
大学院生、大学生、専門学生による授業の設計課題で行われた、商業施設に
関わる作品で、石黒さん、三神さん、三矢さん、村田さんの4人は、3年生後期の
「建築設計4・インテリア設計4」のグループ設計課題の提出作品である
「square」を、伊藤さん、鈴木さん、福岡さんの3人は、3年生前期の「インテリア
設計3」のグループ設計課題の提出作品である「過程再園」を応募しました。

応募総数は27点で、最優秀賞 1点、金賞 2点、銀賞 3点、銅賞 3点が選出
されました。



▲銀賞を受賞した石黒さん、三神さん、三矢さん、村田さんの作品「square」



▲銅賞を受賞した伊藤さん、鈴木さん、福岡さんの作品「過程再園」

中部商空間賞のHPはこちら

<https://www.facebook.com/jcd.chubu/>

受賞者発表の記事はこちら

[https://www.facebook.com/jcd.chubu/posts/pfbid0](https://www.facebook.com/jcd.chubu/posts/pfbid0aYSmcCcsVRS4mXyd4oH9pF6ZrNQ6tCM8Sx5J37taHriJ1MUM64XuX8cvBogriAM6I)

aYSmcCcsVRS4mXyd4oH9pF6ZrNQ6tCM8Sx5J37

taHriJ1MUM64XuX8cvBogriAM6I



小原拓夢さん、中嶋洋介さん、久保則文さん、前田和浩さん (大学院 工学研究科 機械工学専攻) 金属学会秋期大会にて研究成果を 発表しました

9月19日(火)～22(金)、富山大学五福キャンパスで開催された日本
金属学会第173回秋期講演大会に、大学院 工学研究科 機械工学
専攻 高田研究室 1年 小原拓夢さん、中嶋洋介さん、2年 久保則文さん、
前田和浩さんが研究発表を行いました。

中嶋さんの研究は北海道大学と愛知工科大学との共同研究成果、
久保さんの研究は愛知工科大学との共同研究成果になります。

それぞれの研究テーマについては以下の通りです。

◆小原さんのテーマ

「Al-Mg-Si合金中の等温析出物の発達挙動」

◆中嶋さんのテーマ

「画像解析を用いたアルミニウム中の転位のセル形成機構の調査」

◆久保さんのテーマ

「オーステナイト系ステンレス鋼におけるPLCバンドの伝搬と電気抵抗率
振動の関係」

◆前田さんのテーマ

「パラジウム中水素の電気抵抗率への影響」



▲発表を行った4人

永田恵都さん、芦徳偉さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻) 2023年度精密工学会 秋季大会学術講演会で研究論文を 発表しました

9月13日(水)～15日(金)、公益社団法人精密工学会が主催する
2023年度精密工学会秋季大会学術講演会が福岡工業大学で開催さ
れました。

この講演会で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 萩野研
究室 永田恵都さん、芦徳偉さんが研究論文を発表しました。



▲発表を行った2人

発表者とタイトルは以下の通りです。

◆永田さんのテーマ

「窒化HSS工具による被削性評価」

◆芦さんのテーマ

「CFRPの機械加工後の材料強度
に関する研究」

花木玲男さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

第186回秋季講演大会で 研究論文を発表しました

一般社団法人日本鉄鋼協会が主催
する第186回秋季講演大会が富山大学
五福キャンパスで開催されました。

この学会で大学院 工学研究科 修士
課程 機械工学専攻 萩野研究室 1年
花木玲男さんが「切削温度が材料変形
と残留応力に与える影響」と題して研究
発表を行いました。



▲発表を行った花木さん

情報デザイン学科

大学プロモーションビデオの撮影を行いました



▲インタビューの様子

6月15日(木)、情報学部 情報デザイン学科 富永研究室の学生によって製作を進めている大学プロモーションビデオの撮影のため、渡邊慎一学長にインタビューを行いました。

撮影のためのスケジュール設定、質問事項の検討、渡邊学長への内容説明から当日の機材設営、インタビューまですべて学生のみで実行しました。学生にとってはかけがえのない経験になりました。大学プロモーションビデオは本学HPで公開されています。ぜひご覧ください!

総合情報学科

教職員向けスポーツ交流会「DUスポーツ」を開催しました

7月14日(金)、21日(金)、情報学部 総合情報学科 2年生が、教職員対象のスポーツ交流会「DUスポーツ」を実施しました。このイベントは、講義「スポーツ情報実践1」の一環として、学生自らが内容を企画・運営するもので、「(1)大同学園教職員の健康維持増進の足掛かりとして」、「(2)健康維持増進のために週1回の運動習慣を身につけて頂きたい」、「(3)学生の社会人基礎力の向上、大同大学理念、実学主義の実践教育」の3点を目的・目標として毎年行われています。



▲参加者の様子



▲コフボールの様子

7月21日(金)には武藤理事長や大同高校の戸倉校長をはじめ、大同大学、大同高校の教職員が多数参加し、2019年から連携・協力の包括協定を締結している名古屋市南区の職員も参加しました。学生と参加者が混成チームを作りコフボール(すこし変則的なバスケットのようなスポーツ)を楽しみ、汗を流しました。

高大連携の強化、南区との地域連携強化の足掛かりとなる楽しいイベントとなりました。

田中研究室(機械工学科)

研究成果の報告書が公開されました

工学部 機械工学科 田中研究室では、公益財団法人 天田財団の研究開発助成を受け、2019年度より「工具鋼の高品質レーザ積層造形および銅との接合造形」という研究を続けてきました。

レーザ積層造形では性質の異なる材料を溶着することで、機械部品の特性を部分的に高めることができます。この研究では、高温金型の冷却能向上をねらいとして、固体銅(Cu)の板に工具鋼(SKD61)を積層造形し、その金属組織と特性を調べました。

大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 2022年度修了生 児玉勇樹さん、工学部 機械工学科 2022年度卒業生 西川周汰さんがこのテーマに取り組み、積層されたSKD61の特異な組織や硬さ分布について研究し、修士論文にまとめました。

積層造形する時に繰り返しかかる熱影響は複雑で、SKD61では析出する炭化物が何種類もあります。著者らは、積層方向の硬さ分布や焼戻しによる変化を、炭化物の形態の違いから説明しました。

論文は財団ホームページにも公開されています。

https://www.amada-f.or.jp/r_report2/itr/2022/202201-0207.pdf



建築学科 かおりデザイン専攻

高齢者はつつつ長寿推進事業にて学生が講師を務めました

7月27日(木)、交流センター道徳で、高齢者はつつつ長寿推進事業の講師を工学部 建築学科 かおりデザイン専攻の学生10名が務めました。この事業は、名古屋市南区社会福祉協議会が介護予防を推進することを目的に継続して行われています。当日は27名の方が参加し、かおりデザインに関する講話、嗅覚検査、フレグランスソルトづくり体験を実施し、参加者からは大変好評でした。



▲講話の様子



▲嗅覚検査の様子



▲フレグランスソルトづくり体験

尾形研究室(機械システム工学科)、君山研究室(情報システム学科)

FM愛知「中電シーティーアイ Welcome Generation」に出演しました

毎週木曜日20:30からFM愛知で放送されている「中電シーティーアイ Welcome Generation」に、工学部 機械システム工学科 尾形研究室、情報学部 情報システム学科 君山研究室が出演しました。この番組は、中部エリアの大学などで情報や工学の分野を中心に研究を行い、様々な事にチャレンジしている次世代リーダー達のインタビューを発信するものです。10月5日(木)は君山研究室が、12日(木)は尾形研究室が出演し、大学での研究・学びや大学生活などについて語っていました。

公式HPはこちら

<https://fma.co.jp/f/prg/welcomegeneration/>



▲君山研究室での収録の様子

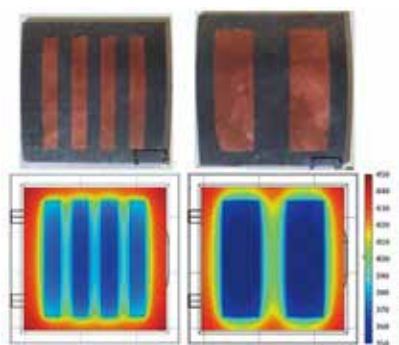


また、工学部 機械工学科 2021年度卒業生 三輪昭斗さん、中島大吾さん、川村知也さん、水谷好祐さんはSKD61/Cu積層材の熱伝達と熱歪みの問題に取り組みました。

もし熱歪みで界面がはがれてしまったら、熱伝達が悪くなり、金型の寿命が低下してしまいます。

彼らは写真のようなCuブロックを埋め込んだSKD61板を試作し、熱歪みを測定したり伝熱シミュレーションを行いました。

また実際に写真の板を鋳型としてアルミニウムの鋳造を行い、鋳物の冷却速度が向上することも確認しています。



総合情報学科 スポーツ情報コース

小学生向けスポーツイベント「レッツジュニア」を開催しました

7月26日(水)、本学石井記念体育館で、小学生向けスポーツイベント「レッツジュニア」が開催されました。このイベントは、大同大学と南区役所との包括連携協定に基づく事業として実施されるもので、情報学部 総合情報学科 スポーツ情報コースの学生が企画・運営を行いました。

34名の小学生が参加し、大学生のお兄さん・お姉さんと一緒に、ハンドボール・バレーボール・ポッチャを楽しみました。



▲イベントの様子



▲ハンドボールの様子



▲バレーボールの様子



▲ポッチャの様子

植田研究室(電気電子工学科)

青山高原ウインドファームを見学してきました

9月29日(金)、工学部 電気電子工学科 植田俊明教授が青山高原ウインドファーム(WF)を見学しました。見学者は植田教授、大学院 工学研究科 修士課程 電気・電子工学専攻 植田研究室 1年 山崎一也さん、工学部 電気電子工学科 同研究室 4年 井上慎之さん、小暮輝さん、鈴木秀羽さんの5名です。

青山高原は三重県の津市から伊賀市にかけて広がる高原で、風況がよく風車が数多く建設されています。株式会社青山高原ウインドファームは新青山高原風力発電所2,000kW×40基を運転しています。一般家庭約44,000世帯の電力を賄うことができ、年間約73,000tのCO2削減効果があり、地球温暖化防止に貢献しています。

社員の方に風車の羽(ブレード)やタワーの内部構造を説明していただき、その運用や雷対策などを理解することができました。この経験を活かして、大学で現在実施中の風車ブレードの雷害対策の研究成果を高めて行きたいと思います。



▲見学会の参加者(左から鈴木さん、山崎さん、植田教授、小暮さん、井上さん)

備一真さん(2019年度卒業 総合情報学科 経営情報専攻)

月刊バレーボール6月号に掲載されました

6月に発刊された月刊バレーボールに情報学部 総合情報学科 経営情報専攻(現:情報学部 総合情報学科 経営情報コース) 2019年度卒業生 備一真さんが掲載されました。

備さんは現在VC長野トライデンツに所属しており、2023年日本代表に選出されました。所属するVC長野トライデンツから備さんを含む3名が日本代表に選出され、本誌の中でチームメイト同士の座談会を行い、日本代表としての活動への意気込みを語っていました。

みなさま、応援のほどよろしくお願いします。

研究・社会連携推進センター

大垣共立銀行と社会連携に関する協定を締結しました

5月19日(金)、大同大学で、大垣共立銀行 頭取 境敏幸さんと、大同大学 渡邊慎一学長との「社会連携に関する協定書」の調印式が開催され、協定の締結を行いました。

この協定は、相互が連携し、それぞれが有する人的物的資源と知的財産を有効に活用して、地域の活性化等につなげることを目的としています。連携協定により、(1)地域活性化のための活動、(2)企業及び自治体等からの技術相談、(3)企業及び自治体等からの共同・委託研究の推進、(4)地域における創業・新事業支援、(5)社会連携活動の推進に資するための人材育成、(6)文化及び学術の振興などについて相互協力を行い、社会連携を推進していきます。



▲大垣共立銀行 土屋常務取締役(左)、大同大学 渡邊学長(右)



岩橋尊嗣元教授(かおりデザイン専攻)

産経新聞に取材記事が掲載されました

6月5日(月)、産経新聞に工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 岩橋尊嗣元教授が取材を受けた記事が掲載されました。

記事では5月に、大阪府八尾市の小学校で異臭騒ぎが起こったことについて考察するもので、岩橋元教授は専門家としての立場から「下水管」の存在がポイントであるとして解説しています。

佐藤快さん(2018年度卒業 総合情報学科 経営情報専攻)

広報なごや8月号に出演しました

8月1日(火)発行の「広報なごや」8月号に、男子ハンドボール部の卒業生で、現在は日本リーグの強豪「大同特殊鋼フェニックス」で選手として活躍している、情報学部 総合情報学科 経営情報専攻(現:情報学部 総合情報学科 経営情報コース) 2018年度卒業生 佐藤快さんが出演しました。佐藤さんは、現役スポーツ選手が紹介するストレッチをテーマに、肩こりの解消につながる種目を紹介しています。

広報なごやはこちら

https://www.city.nagoya.jp/shicho/cmsfiles/contents/0000013/13636/2308_shiban_ren.pdf

佐藤さんのストレッチ実演動画はこちら

https://youtu.be/_nu4VXiZ5YE



特設サイト「5分でわかる大同大学」を公開しました

7月5日(水)、特設サイト「5分でわかる大同大学」を公開しました。このサイトは、大同大学の数値データや特徴が5分程度で概観できるようになっているほか、より詳細な情報がわかるページにもリンクが設置されており、大同大学について知りたい方にはおすめのページとなっています。また、サイト内には、学生と教職員との対談動画「DAIDO CROSS TALK」も掲載されており、実際の学生の声を聞くことができます。ぜひご覧ください。

特設サイト「5分でわかる大同大学」はこちら
<https://www.daido-it.ac.jp/5-minutes/index.html>

対談動画「DAIDO CROSS TALK」はこちら



工学部
<https://youtu.be/DGPuhsNVRJM>



建築学部
<https://youtu.be/pe0q8814tsg>



情報学部
<https://youtu.be/Ge8tgOyFdFM>

Innovation AI LAB同好会

児童館で出張授業を行いました

Innovation AI LAB同好会が前津児童館でロボットについての出張授業と操作体験会を行いました。1年生から6年生の14名の小学生が参加しました。



▲出張授業の様子

高大連携を強化し社会で活躍する人材を輩出

学校法人大同学園は大学・高校を合わせて毎年1,200名を超える学生・生徒を迎え入れています。本学園には、学生・生徒を変化の激しい社会においても活躍できる人材へと育成し、社会に送り出すという大きな使命があります。大同学園の第1期中期計画(2020-2024)では、「建学の精神に立ち返り、再構築する」という基本方針のもと、大学では、2020年に「DAIDO VISION 2030」を策定し、学生の行動指針を「自分が変わる、未来を変える。」として、教育・研究を推進しています。高校では2022年に「すべての生徒に<汗と愛>の経験を」を最上位目標に掲げ、自己肯定感を土台として生徒一人ひとりが高校生活の様々な経験を通じて社会で有為な人材へと成長できるよう改革に着手しています。今後、少子化が進む社会環境を見据え、大学と高校が近距離にある立地を活かし、高大連携の取り組みをさらに強化していきます。

■大学キャンパス内で1年間の高校生活

2024年4月から、大学キャンパス内にある2棟を高校校舎として活用し、大同高校の1年生が1年間この校舎で学びます。大学キャンパス内の図書館や学生食堂なども利用できます。今後、高校生と大学生の交流を促進することにより、共に成長する機会を創出します。

番屋愛香里さん、山岡敬汰さん(2022年度卒業 建築学科 建築専攻) 公益財団法人乃村文化財団 2023年表彰事業『学生卒業設計・制作 NCF空間ディスプレイアワード』で入賞しました!

7月12日(水)、公益財団法人乃村文化財団が主催する、2023年 表彰事業『学生卒業設計・制作 NCF空間ディスプレイアワード』の表彰状授与式が行われ、最優秀賞が1件、優秀賞が4件、奨励賞が4件選定される中で、工学部 建築学科 建築専攻 米澤隆研究室を今春卒業した番屋愛香里さんが、作品「しあわせな家族の解体方法」で優秀賞を、同専攻 船橋仁奈研究室を今春卒業した山岡敬汰さんが、作品「都市のアジール」で優秀賞を受賞しました。

乃村文化財団は、空間デザイン・ディスプレイデザイン・環境デザイン・建築デザイン・情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉え、リアルからバーチャルへと未来に向かって進化する新たなディスプレイを見据えた優れた卒業設計・制作を評価し、その所属大学等の空間ディスプレイ分野における活動を顕彰することによって、空間ディスプレイによる社会貢献の可能性を広げることを表彰事業の目的としています。

NCF空間ディスプレイアワードは、日本全国に所在する大学の2022年度(2023年3月)卒業予定者の卒業設計・制作作品で、空間ディスプレイに関わるものがその対象で、ディスプレイが、人と人、人と物、人と情報をつなぎ豊かな価値を創造する空間を媒体としたコミュニケーション手段のひとつであること、具体的な空間デザインにおいて具現化していることを評価・表彰するものです。

乃村文化財団「学生卒業設計・制作
 NCF空間ディスプレイアワード」はこちら
<https://www.nomura-cf.jp/business/award/>



▲番屋さんの卒業設計作品
 「しあわせな家族の解体方法」

▲山岡さんの卒業設計作品
 「都市のアジール」

大同大学と南区役所との包括連携協定に基づく事業「中高生ものづくり体験with大同大学」を開催しました

大同大学と南区役所との包括連携協定に基づく事業として、8月23日(水)に本学で、南区に在学の中中学生及び高校生を対象とした「ものづくり体験」を開催しました。体験内容は、以下の4つのコースに分かれ実施しました。

- ドローンのプログラミング体験(機械システム工学科 橋口宏衛講師)
- 小さな照明器具を作ろう(建築専攻/インテリアデザイン専攻 中島貴光教授)
- グラフィックデザインでオリジナルカードを作ろう(情報デザイン学科 桐山岳寛講師)
- 作ってみよう!3Dプリンターやレーザー加工機で何ができるの?(情報デザイン学科 舟橋慶祐准教授)

参加者からは、「ドローンを自分で入力したプログラムで動かせて、とても楽しかった。」「教師の方や教えてくださった学生の方がとても親切で優しくしてくださり、最高の作品が作れて本当に嬉しいです。自分の部屋に飾って眺めたいです。」「みなさん優しく接してくださり、教えてくださったので、デザインのことについて分かったし、とても楽しかった。」「YouTubeでしか見たことのなかった3Dプリンターなどで実際に作れて楽しかったです。」などの声が寄せられました。



▲ドローンのプログラミング体験の様子

▲小さな照明器具制作の様子

▲オリジナルカード制作の様子

▲CG制作の様子

井上孝司名誉教授

最終講義と祝賀会を開催しました

8月27日(日)、名古屋観光ホテルで、井上孝司名誉教授の最終講義と祝賀会を開催しました。井上名誉教授の同級生、井上研究室OB、大同大学OBや職員、企業など総勢130名を超える方々が参加しました。井上名誉教授は、1975年3月に大同工業大学 工学部 機械工学科を卒業し、翌年1976年4月から機械工学科技術として着任しました。その後、1998年に本学で博士(工学)(博第3号)の学位を取得し、本学機械工学科のOBとして初めて副学長に就任するなど、学内の要職を歴任しました。2020年3月に退職した後も、3年間非常勤講師として活躍され、計47年に渡り大同大学の教育・研究・運営に尽力しました。また、同窓会活動においても副会長を歴任しました。

最終講義では、大同大学のリアルな歴史や、これまでに取り組んだ研究成果、出演したTV番組の話など多岐にわたり、90分では物足りない内容でした。講義後の祝賀会では、参加した多くの方と交流しており、また、参加者同士も井上先生という共通の話題で大いに盛り上がっていました。

協賛いただいた大同大学同窓会および、賛同いただいた皆様にこの場を借りて改めて御礼申し上げます。



▲最終講義の様子

▲最終講義の様子

▲中絶めの様子

▲お上げされる井上先生

大同高校の合同作品展を開催しました

9月15日(金)~23日(土)、大同大学B棟1階学生ホールで、大同高校の写真部・美術部・漫画研究部・卒業生の合同作品展を開催しました。写真や絵画、立体造形など、多数の作品が展示されました。



▲作品展の様子

▲作品展の様子

▲作品展の様子

▲作品展の様子

愛知県南警察署と合同で防犯訓練を実施しました

9月8日(金)、愛知県南警察署と共同して、防犯訓練を実施しました。大学内の学生ホールで不審者が暴れ、学生に負傷者が発生したという想定のもと、学生、教職員、警察官が多数参加する現実さながらの訓練となりました。訓練の前には警察官からサスマタや小盾の取り扱いをはじめ暴漢と対峙した際の心構えなどの講習を受けたほか、110番通報の仕方を教えて頂きました。参加した学生たちは警察の真剣な訓練を目の前にし、実際の事件発生時の緊張感を感じる中、いつ起こるかわからない事件で自分たちの身を守る為に訓練がいかに必要かを実感した様子でした。



▲訓練の様子

大同大学でエレクトロニクス実装学会のシンポジウム(MES2023)を開催しました

9月6日(水)~8日(金)、本学X棟で、エレクトロニクス実装学会第33回マイクロエレクトロニクスシンポジウム(MES2023)を開催しました。対面とリモートのハイブリッド開催で、参加者は512名、発表件数は95件、企業展示は12社でした。本学の関係者としては、神保睦子前学長から「工学系の女性研究者として」の特別講演がありました。また、工学部 電気電子工学科 山田靖教授から「パワー半導体高温動作実装構造の信頼性」の発表が、大学院 工学研究科 修士課程 電気・電子工学専攻 松永いづみさんから「パワー半導体実装用接合材料の高温・高電流密度



▲当日の様子

▲当日の案内板

での信頼性評価」の発表がありました。交流会においては、渡邊慎一学長の挨拶がありました。

2023年度前期学位記授与式を挙行了しました

9月22日(金)、本学A棟2階第1会議室で2023年度前期学位記授与式を挙行了しました。渡邊慎一学長から卒業生一人ひとりに学位記が授与されました。

【卒業生内訳】			
工学部	機械システム工学科	1名	
	電気電子工学科	2名	
	建築学科	2名	
情報学部	情報システム学科	2名	

▲学位記授与式の様子

名古屋南消防署と大同病院との多数傷病者訓練を実施しました

10月1日(日)、名古屋南消防署と大同病院と合同で多数傷病者訓練を実施しました。この訓練では大同大学の学生が傷病者役となり、大同大学内で訓練を実施しました。また、南消防署と大同病院との連携強化を図るため、大同病院のドクターカーが要請されたほか、大同病院の屋上ヘリポートを使用して消防ヘリコプターの離着陸訓練も行われました。張り詰めた雰囲気の中、一刻を争う多数傷病者の救命のため真剣に取り組む救急隊員の姿に圧倒されながらも、いつ起こるかわからない災害の為にいかに訓練が必要かを強く実感することができました。



▲訓練の様子



株式会社環境管理センター
中村 友香
2017年3月
情報学部 総合情報学科
かおりデザイン専攻卒業
(現:工学部 建築学科 かおりデザイン専攻)
2023年12月現在
株式会社環境管理センター
入社6年目

—— 現在勤務している企業を紹介してください。

環境管理センターは環境調査・分析・コンサルタント業務を通し、お客様の環境課題を解決する環境総合コンサルティング会社です。

—— 現在従事している仕事内容を教えてください。

6月まではにおいに関わる試験を行うLab(におい・かおりLab)で受託試験などの仕事に従事していました。現在は子会社であるKANKYO ENVIRONMENT SOLUTIONS CO. LTD(KES)の連携室に所属し、ベトナムで働いています。KESは環境モニタリングを中心とした事業を行っています。受託試験でお客様と話をすることが多く、その経験を活かして現在、私は営業として働いています。

—— 現在のお仕事におけるやりがいを教えてください。

ベトナムへ来てまだ間もないですが、お客様からご相談をいただいたり、また新たなお客様をご紹介していただくこともあります。その時に信頼されていると感じるとともにやりがいを感じます。

—— その企業に就職したきっかけ、経緯を教えてください。

学生時代は実験が好きで、においの受託試験を行っている会社に興味がありました。

環境管理センターは公益社団法人におい・かおり環境から第一種臭気測定認定事業所と認定されており、におい専門のLabを保有しています。におい・かおりLabでは様々なにおいの受託試験を行っていること知り、私のやりたい仕事のイメージと一致したため応募しました。

—— 大学での学びはどのように生きていますか？

入社後6年間は、におい・かおりLabで技術職として働いていました。大学ではにおいの知識や法律、においのサンプリング方法や分析方法を学びました。においについて幅広く学べました。在学中には臭気判定士というにおいに関する国家資格を取得することもでき、就職してにおいの専門家として働くイメージを持ってました。実際に会社へ入社してからのギャップも少なかったです。

また、においについては営業になった今でも大学での学びや技術の経験から、お客様とお話するときにより詳しく説明することができています。

—— これからの目標を教えてください。

ベトナムで働いているので、日本の皆様にもベトナムのことをSNS等でお伝えしたいと考えています。ベトナムへは出張で2回行き、今回の赴任に至りますが住んでみると出張では見えなかったベトナムが見えてきます。

—— 在学生に一言お願いします。

挑戦したくても勇気がなかったり不安が大きくてなかなか行動に移せないことがあるかと思います。社会人になると不思議とその気持ちが大きくなる一方、まとまった時間が取れなくなり学生時代に挑戦しておけばよかったなあと後悔すると思います。私がそうでした。

学生時代に挑戦したことはどんな結果となっても無駄になることは絶対にならないので、後悔の無いようどんなことにでも挑戦してみてください！

企業 DATA

株式会社環境管理センター
〒193-0832
東京都八王子市散田町3丁目7番23号
設立 1971(昭和46)年7月23日
取締役 代表取締役社長 水落 憲吾
資本金 8億7,044万円
従業員数 289名(2022年6月30日現在)
事業内容 調査測定、ラボ分析、環境コンサルタント、対策工事、海外事業
株式市場 東証スタンダード

卒業生インタビュー

Graduates of Daido University

株式会社三光
土井 直哉
2016年3月
情報学部 情報デザイン学科
メディアデザイン専攻卒業
(現:情報学部 情報デザイン学科)
2023年12月現在
株式会社三光
入社7年目

—— 現在勤務している企業を紹介してください。

舞台やライブの照明、音響のプランニングや実施。ステージ企画・制作をメインに行う企業です。

—— 現在従事している仕事内容を教えてください。

ラジオ局での番組制作、ディレクター業務です。

—— 現在のお仕事におけるやりがいを教えてください。

同じ仕事がないこと。番組は同じでも、中身は毎日違う。日々違う仕事ができるのが楽しいし、やりがいになります。

—— その企業に就職したきっかけ、経緯を教えてください。



大学在学時にラジオでMCをされている教授と知り合い、そこから今の会社を紹介してもらい、ラジオの世界に飛び込みました。

—— 大学での学びはどのように生きていますか？

在学時から作品の制作を行っていたので何かの作品を作る難しさと逆にそれを楽しむことを在学時に知れたのは大きいと思います。

—— これからの目標を教えてください。

あの番組おもしろいよって自分の作った番組が街で噂されるくらい面白い番組を作ってみたいです。

—— 在学生に一言お願いします。

ちょっと無理してでも色々な経験をしてください！ 全部いつかネタになります！

企業 DATA

株式会社三光
〒464-0850
愛知県名古屋千種区今池四丁目五番11号
ワークステーション
設立 1965(昭和40)年6月
資本金 2,000万円
事業内容
●各種催事の照明・音響・企画制作
コンサート・ディナーショー／ヘアーショー・ファッションショー／パレエ／日本舞踊／能・狂言／オペラ／民謡・民舞／フラメンコ／演劇／歌舞伎／演奏会(大正琴・琴・三味線・太鼓等)／スポーツイベント／展示会／テレビ・ラジオ公録／講演会／学会／お祭り等市町村・地域イベント〈学校行事〉
入学式・卒業式／学園祭／機材の納入〈企業・団体〉
式典・パーティー／商品発表会／株主総会／運動会等イベント／セミナー／シンポジウム
●ホール・劇場 舞台管理運営業務委託
●放送局の放送制作・技術
●店舗・建造物の新築及び改装に伴う、空間演出等のデザイン及び施工
●照明・音響・舞台機材のリース並びに施行
●一般労働者派遣業
●電気工事業

宮本潤准教授(機械工学科)

専門図書「プラズマ産業革新技术」を共著で執筆しました

4月28日(金)、シーエムシー出版より刊行された専門図書「プラズマ産業革新技术」を工学部 機械工学科 宮本潤准教授が共著で執筆しました。本書は表面処理、材料、環境、農業、医療、バイオまで様々な領域で産業応用が広がっているプラズマ技術の開発の進展がまとめられています。プラズマ科学技術に造詣の深い、研究開発の第一線で活躍中の技術者や研究者が執筆者となっており、現在並びに未来の産業を革新するプラズマ応用技術の近年の進展と動向を知る1冊となっています。宮本准教授は「第2章材料分野への応用第5節真空および大気圧中における銅のプラズマ窒化処理法の開発」の執筆を担当しました。



橋口宏衛講師(機械システム工学科)

情報誌『名古屋港』に記事が掲載されました

5月20日(土)発行の情報誌『名古屋港』に、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師による「ドローンの飛び交う世界を目指して」の記事の連載がスタートしました。情報誌『名古屋港』は国際貿易港として成長著しい名古屋港の魅力を伝えるために、名古屋港利用促進協議会によって発行されており、橋口講師の連載は全6回を予定しています。

5月20日(土)発行の第1回の記事では「ドローンの種類と飛ばし方」について、橋口研究室で開発したマルチコプターの写真を交えながら分かりやすく解説しています。7月20日(木)発行の第2回の記事では「ドローンのプロは何のプロ?」と題して、ドローンの操縦資格や、その資格によって可能になる飛行種類について解説しています。9月20日(水)発行の第3回の記事では「ドローンのプロは何のプロ?②」と題して、ドローンの開発にはプログラミング技術が必要であることや、機体認証制度について解説しています。

名古屋港利用促進協議会のHPはこちら

<https://www.nagoyaportpromotion.jp/index.html>


宮本潤准教授(機械工学科)

共同研究の成果が日刊工業新聞に取り上げられました

中日本炉工業株式会社と工学部 機械工学科 宮本潤准教授の共同研究で取り組み開発した新しいプラズマ窒化処理法について、日刊工業新聞に取り上げられました。従来被処理物の全面を均一に表面改質処理することは不可能でしたが、今回開発した処理方法では従来の装置をそのまま使用しつつ複数の被処理物の全面を均一に処理できる処理法となっています。今後円筒形や球形などの様々な微小機械部品などへの処理およびその他の産業への波及効果が期待されます。

大東憲二特任教授

第2回環境防災オンラインセミナーで講演しました

7月14日(金)、株式会社三弘が主催する「第2回環境防災オンラインセミナー」で、大東憲二特任教授が講演を行いました。大東特任教授は、「地下水の過剰揚水がもたらす地盤沈下の現状と災害時の地下水利用」をテーマに講演を行いました。

詳細情報ははこちら

<https://www.sanko-web.co.jp/seminar/76-2-2-2-3-5-3-2-2-5-2-2-2-3.html>


橋口宏衛講師(機械システム工学科)

「東三河ドローン・リバー構想推進協議会」での講演が東日新聞Webサイトに掲載されました

5月15日(月)、新城市内で開催された「東三河ドローン・リバー構想推進協議会」第7回総会で、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師が講演し、東日新聞Webサイトに記事が掲載されました。

この協議会のアドバイザーも務める橋口講師は、現行のドローン飛行ルールの中で実験を行うことの難しさを、ドローンの実験事例の紹介を交えながら説明しました。実証実験を積み重ねていくことの重要性を訴えました。

東日新聞Webサイトの記事はこちら

<https://www.tonichi.net/news/index.php?id=101690>


橋口宏衛講師(機械システム工学科)

「空と道がつながる愛知モデル2030」プロジェクトのアドバイザーに就任しました

5月25日(木)より始動した、「あいちモビリティイノベーションプロジェクト 空と道がつながる愛知モデル2030」プロジェクトチームのアドバイザーとして、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師が参加しています。このプロジェクトは、株式会社プロドローンが提案し愛知県が採択した官民合同のプロジェクトで、ドローンを始めとした空のモビリティの社会実装や、自動運転車両との同時制御の運行など、新しいモビリティ社会の構築を目指すものです。

アイキャッチ画像の出典は愛知県庁HPより引用

引用元: <https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/460185.pdf>

Yahoo!ニュース掲載の記事はこちら

<https://article.yahoo.co.jp/detail/d35f07cb3d3b669a3f1330fbec7f6a8dec605613>

愛知県庁HPの該当ページはこちら

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/soramichi2023-2.html>


君山博之教授(情報システム学科)

「情報処理安全確保支援士」有資格者として登録されました

情報学部 情報システム学科 君山博之教授が2023年4月1日付けで「情報処理安全確保支援士(登録セキュリティ)」の資格保有者(第025576号)として登録されました。「情報処理安全確保支援士」とは、「情報処理の促進に関する法律」により定められた国家資格であり、電子計算機を利用する人たちのサイバーセキュリティ確保を支援できる知識と技術を持っていると認められた人に与えられるものです。有資格者として、大学や地域のサイバーセキュリティの確保と学生向けのサイバーセキュリティ教育に貢献していく予定です。

情報処理安全確保支援士制度についてはこちら

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/riss/seido/index.html>


大東憲二特任教授

土木学会 第54回夏季講習会で講演しました

8月22日(火)、名古屋工学院専門学校で開催された「令和5年度 土木学会 第54回夏季講習会」で、大東憲二特任教授が基調講演を行いました。

この講習会のテーマは「リニア中央新幹線開業後の人・モノの動きの大変革～リニア中央新幹線開業に向けたJR東海・自治体の取組～」です。大東特任教授は「リニア中央新幹線建設における環境対策」をテーマに基調講演を行いました。

詳細情報ははこちら

<https://committees.jsce.or.jp/education11/node/88>


萩野将広准教授(機械工学科)

中高生を対象としたものづくり講座の様子が中日新聞に掲載されました

8月8日(火)発行の中日新聞市民版で、工学部 機械工学科 萩野将広准教授が講師を務めた「青少年のためのSTEAM教育を通じたSDGs体験イベント」の様子が掲載されました。このイベントは名古屋市教育委員会が後援し、名古屋市立工業高等学校と協働で8月2日(水)、4日(金)の2日間にわたり開催され、参加した中高生は3D CADソフトを使用して、製品の設計から製造までの流れを体験しました。



▲中高生の前で講義をする萩野准教授



▲製造体験の様子

関連記事はこちら

青少年のためのSTEAM教育を通じたSDGs体験

イベントを実施します/萩野将広 准教授

https://www.daido-news.jp/du_news/teacher/4453.html


船橋に奈准教授(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

イタリア・ヴェネチアで開催中の国際建築展「TIME SPACE EXISTENCE」に出展しました

ヨーロッパ文化センターが主催するヴェネチア・ビエンナーレ2023 関連企画展「TIME SPACE EXISTENCE」で、工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 船橋に奈准教授、大学院 工学研究科 修士課程 建築学専攻 船橋研究室 2年 直井和希さん、中島将吾さんが制作した「DEFRAGMENTATION」が展示されました。会場となるヴェネチアのPalazzo Moraで展示され、5月20日(土)～11月26日(日)の約半年間開催されました。

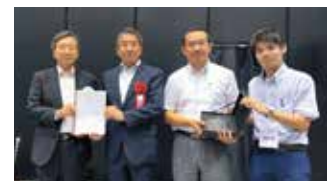
◆作品コンセプト

「DEFRAGMENTATION」は、展覧会のテーマ「TIME SPACE EXISTENCE」に沿ったサイトスペシフィックな空間である。日本とは異なる文化的背景を読み取り、その場所でしか成し得ない空間をデザインした。展示会場は11世紀後半に建てられた歴史的建造物であり、個人所有の宮殿と

橋口宏衛講師(機械システム工学科)

座長を務めるWGが国際ドローン展で表彰されました

7月26日(水)～28日(金)、東京ビッグサイトで開催された日本ドローンコンソーシアム(JDC)主催の「第9回国際ドローン展」に、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師が座長を務める「無人飛行ロボットWG」が表彰を受けました。このWGは、「あいちロボット産業クラスター推進協議会」内にあり、ドローンの活用促進を目指して、実証実験場の提供や、人材育成講座の開催などの各種活動を積極的に実施しています。ドローンの活用に向き姿勢が評価され、今回の表彰に至りました。橋口講師は、今回の表彰式において、このWGの活動内容の紹介を行いました。



▲表彰を受ける橋口講師(右から2番目)



▲講演の様子

橋口宏衛講師(機械システム工学科)

無人飛行ロボット活用促進事業において、人材育成講座の講師を担当します

7月25日(火)、愛知県は「無人飛行ロボット活用促進事業」を実施することを発表しました。この事業は、あいちロボット産業クラスター推進協議会が核となり、ドローンの開発支援や、社会実装を目指した実証実験を実施するなど、ドローンの産業活用に向けた取り組みを推進するものです。

今回、豊川市内における実証実験及び、人材育成講座を実施することが発表されました。人材育成講座において、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師が「ドローンエンジニア育成講座」の講師を務めることとなりました。

愛知県の発表内容ははこちら

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/mujinhikoujikken2023.html>

Webメディア「ドローンジャーナル」においても本件が発信されています

<https://drone-journal.impress.co.jp/docs/news/1185368.html?fbclid=IwAR3fnpEyODm9y6jMnyX0q9xMUOxhjB4S5ASAt4BT48LpVWx4whq3uUBflyo>


▲DEFRAGMENTATION, 2023

して利用されたのち、第二次世界大戦までは民間のアパートとして利用され、現在はヨーロッパ文化センターの所有となっている。展示室には900年にも及ぶ長い時間と共に刻まれた歴史の痕跡が様々なかたちに残っているが、それら歴史の断片は相互に関係性を持たない。これらの断片的な要素を抽出し、新たな価値を有する空間に再編するため「無形の屋根」を設置した。文脈を失った既存空間の本質を明らかにし、断片的な要素を新たな文脈に収斂させるこの屋根は、当該空間に新たな評価軸を与え、過去と未来を調停する両義的空間を創出する。

企画展「TIME SPACE EXISTENCE」の公式サイトはこちら

<https://www.timespaceexistence.com>


坪井涼准教授(機械工学科)

「解析編 連成解析・CAEへの導入」の特集記事を執筆しました

一般社団法人 日本トライボロジー学会が発行する、トライボロジストの特集・リファレンス オブ リファレンス -2023年版-(2)が発行され、工学部 機械工学科 坪井涼准教授がそのうちの「解析編 連成解析・CAEへの導入」について執筆しました。

書籍の詳細はこちら

https://www.jstage.jst.go.jp/article/tribologist/68/8/68_68.08_544/_article/-char/ja



徳納一成特任教授、萩野将広准教授(機械工学科)

Materials Transactions Vol.64 No.9に欧文総説が掲載されました



▲左から萩野准教授、徳納特任教授

工学部 機械工学科 徳納一成特任教授、萩野将広准教授、および九州大学 光原昌寿准教授の共著欧文総説「Early-Stage Dislocation Structures inside the Dislocation Channels of Face-Centered-Cubic Metals with Point Defect Clusters」が、Materials Transactions, Vol.64, No.9 (2023) pp.2027 to 2038 に掲載されました。この総説は、徳納特任教授らが長年取り組んできた「面心立方金属の初期変形時の加工硬化機構」に関して、STEM法による透過型電子顕微鏡観察結果と最新の塑性解析法をもとにした考察結果をまとめ上げたものです。この総説は、単なる静的加工時の加工硬化現象のみならず、近年精力的に広く展開されている「金属の疲労破壊現象」解明にもつながる可能性もあるものと考えられます。

論文はこちら

https://www.jstage.jst.go.jp/article/matertrans/64/9/64_MT-M2023032/_pdf/-char/en



西脇武志教授(機械工学科)

企業との共同研究の成果が発表されました

9月29日(金)、工学部 機械工学科 西脇武志教授とテクノイト株式会社との共同研究の成果が、愛知県ホームページにて発表されました。

この研究は、成型が難しいアルミニウム合金板の絞り成型技術を開発したもので、自動車の電動化や軽量化に寄与することが期待されます。

「新あいち創造研究開発補助金」の補助金を受け、テクノイト株式会社、あいち産業科学技術総合センター産業技術センター、大同大学との産官学連携により推進されていました。

西脇教授は、「部分軟化成型法」の技術シーズの提供およびCAE解析手法の指導を担当しました。

この研究における成果物は、10月5日(木)、6日(金)に常滑市の愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」で開催された、「あいちモノづくりエキスポ2023」で展示されました。

愛知県HPの記事はこちら

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/20230929.html>

あいちモノづくりエキスポ2023のHPはこちら

<https://aimexpo.jp/>



山田靖教授(電気電子工学科)

技術情報協会のセミナーで講師を務めました

9月4日(月)、技術情報協会の技術セミナー「パワー半導体用接合材料の開発動向とその信頼性評価」で、工学部 電気電子工学科 山田靖教授が講師を務めました。

山田教授が担当したのは、「パワー半導体実装における接合技術・信頼性と特性評価法」で、自動車の電動化やパワー半導体の説明に引き続き、接合技術に求められる要件、概要について解説しました。そして、Cuナノ粒子接合技術について、これまでの研究結果を説明しました。さらに、接合技術の特性評価法についても、最近の研究成果を述べました。なお今回は、Zoomを用いたWebセミナーで開催されました。



西脇武志教授(機械工学科)

企業向け講座「いちから始めるプレス成型CAE」の講師を務めました

11月2日(木)、名古屋市工業研究所で、企業を対象とした講座「いちから始めるプレス成型CAE」が開催されました。このイベントは、公益財団法人名古屋産業振興公社によって開催されたもので、工学部 機械工学科 西脇武志教授が講師を務めました。プレス成型CAEの導入に向けて、勉強用のソフトウェアを用いた実習を行いました。

案内ページはこちら

<https://www.nipc.or.jp/sansien/cae/info.html>



橋口宏衛講師(機械システム工学科)

ドローンの実証実験にアドバイザーとして参加しました

9月22日(金)、愛知県幸田町で行われた「ドローンと自動運転車の連携による農産物輸送」の実証実験に、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師がアドバイザーとして参加しました。この実験は国土交通省が募集する「無人航空機等を活用したラストワンマイル配送実証事業」として、愛知県と名古屋鉄道などが9月上旬から実施してきたものです。橋口講師は、愛知県が主催する、あいちロボット産業クラスター推進協議会の「無人飛行ロボット活用WG」の座長を務めています。

外部のニュースサイトにも記事が掲載されています。

<https://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20230922/3000031869.html>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6e86156db441a8f5d7a4a6a228c62c1a8bdeab06>

<https://www.chunichi.co.jp/article/776120>



▲橋口講師(写真左から4人目)

▲実験の様子

橋口宏衛講師(機械システム工学科)

第21回無人飛行ロボット活用ワーキンググループで報告しました

9月7日(木)、ウインクあいちで開催された「第21回無人飛行ロボット活用ワーキンググループ」で、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師がドローン人材育成に関する報告を行いました。

無人飛行ロボット活用ワーキンググループは、あいちロボット産業クラスター推進協議会が設立したもので、橋口講師が座長を務めています。

橋口講師は「ドローンエンジニア人材育成に関する取り組みについて」をテーマに、ドローン業界の人材育成の現状、求められる人材、今後の課題等について報告しました。橋口講師は12月に、「ドローンの機体組み立てと飛行調整」をテーマに講座を実施予定です。



▲報告を行う橋口講師

コラム

災害は忘れたころにやってくる

今年は関東大震災から100年。いろいろなメディアで取り上げられたので、ご覧になった方も多かったと思います。我々がいるここ名古屋市南区も、多くの自然災害に遭遇してきました。なかでも、今から64年前の伊勢湾台風は5,000人を超える死者・行方不明者、台風災害史上最悪の惨事だったことは皆さんご存じのことと思います。大同大学の図書館には、その当時の記録を整理したアーカイブがありますので、ぜひご覧ください。

さて、いま私の席の横の壁には南区のハザードマップを貼り付けています。マップは「地震」「津波」「高潮」「洪水」「内水氾濫」「指定避難場所」と6種類あり、それぞれ想定しうる最大規模の災害が発生した際の被害内容や範囲、到達時間や災害継続時間、その際の避難場所がマッピングされています。いやはやいような災害が想定されているんだなあと、そもそも「内水氾濫」って何? と思います。「洪水」は河川が、「内水氾濫」は下水道や中小河川が、集中豪雨などによって氾濫することのようです。

「地震」マップには、話題の南海トラフ地震が発生した場合の震度や液状化の予想があります。近世以降の埋め立て地であるこの地区は、震度6強・液状化のリスクあり、とされています。津波も2〜4時間に到達する可能性があります。また、最大の浸水リスクシナリオは、「洪水」や「内水氾濫」ではなく「高潮」にあることが分かります。伊勢湾台風を超えるような台風の直撃と名古屋港の満潮等の条件が重なると、最大5mを超える浸水となり、1週間以上水が引かないとなっています。

これらは考え得る最悪のシナリオでその発生頻度も小さいとはなっていますが、いざというときに「想定外」では困りますね。幸いなことに、本学は大学・高校ともに「指定避難場所」であり、この地域で最も安全な場所です。浸水リスクがあるときは、建物の4階以上に避難しましょう。そして、最も大切な事は、学生・教職員の一人ひとりが、このような事が起こりうるという事を自覚しておくことだと思います。まさに「災害は忘れたころにやってくる」ですから。

武藤 大 理事長 65歳

1982年3月
九州大学 経済学部経済工学科 卒業
2019年8月30日
学校法人大同学園 理事長就任

毎年、卒業研究や修士論文の発表を聴講することを楽しみにしています。発表会場に座っていると思いますのでヨロシク!!